

インマヌエル中目黒キリスト教会 2013年11月17日聖日礼拝

使徒の働き連講⑳

「町に大きな喜びが」

使徒の働き8章5-25節

竿代照夫 牧師



朗読聖書

新約聖書

使徒の働き 8章5 – 25節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp222~/ 第三版の聖書はp242~

- 5 ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。
- 6 群衆はピリポの話聞き、その行っていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。
- 7 汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くし、多くの中風の者や足のなえた者は直ったからである。
- 8 それでその町に大きな喜びが起こった。

- 9 ところが、この町にシモンという人がいた。彼は以前からこの町で魔術を行って、サマリヤの人々を驚かし、自分は偉大な者だと話していた。
- 10 小さな者から大きな者に至るまで、あらゆる人々が彼に関心を抱き、「この人こそ、大能と呼ばれる、神の力だ」と言っていた。
- 11 人々が彼に関心を抱いたのは、長い間、その魔術に驚かされていたからである。

- 12 しかし、ピリポが神の国とイエス・キリストの御名について宣べるのを信じた彼らは、男も女もバプテスマを受けた。
- 13 シモン自身も信じて、バプテスマを受け、いつもピリポについていた。そして、しるしとすばらしい奇蹟が行われるのを見て、驚いていた。
- 14 さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。

- 15 ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。
- 16 彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。
- 17 ふたりが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。
- 18 使徒たちが手を置くと御霊が与えられるのを見たシモンは、使徒たちのところに金を持って来て、

- 19 「私が手を置いた者がだれでも聖霊を受けられるように、この権威を私にも下さい」と言った。
- 20 ペテロは彼に向かって言った。「あなたの金は、あなたとともに滅びるがよい。あなたは金で神の賜物を手に入れようと思っているからです。
- 21 あなたは、このことについては何の関係もないし、それにあずかることもできません。あなたの心が神の前に正しくないからです。

- 22 だから、この悪事を悔い改めて、主に祈りなさい。あるいは、心に抱いた思いが赦されるかもしれません。
- 23 あなたはまだ苦い胆汁と不義のきずなの中にいることが、私にはよくわかっています。」
- 24 シモンは答えて言った。「あなたがたの言われた事が何も私に起こらないように、私のために主に祈ってください。」
- 25 このようにして、使徒たちはおごそかにあかしをし、また主のことばを語って後、エルサレムへの帰途につき、サマリヤ人の多くの村でも福音を宣べ伝えた。

説教

使徒の働き連講⑳

「町に大きな喜びが」

使徒の働き8章5-25節

竿代照夫 牧師



主テキスト

「ピリポはサマリヤの町に下って行き、
人々にキリストを宣べ伝えた。
・・・それでその町に大きな喜びが起こった。」

(使徒 8 : 5、 8)

前回の復習：人生の逆境を福音伝達の機会と捉える信仰（1－4節）

A. ピリポのサマリヤ伝道（5－8節）

1. ピリポという人物

- ・ピリポに焦点：サマリヤ伝道とエチオピア人への伝道の歴史的意義のため
- ・ピリポという名前：馬を愛する人
- ・ピリポの出身地：不明、しかし、ディアスポラ・ユダヤ人
- ・ピリポの立場：執事の一人（6：3－5）

2. サマリヤとは

- ・パレスチナ中央部の州（地図参照）
- ・イスラエル王国分裂時（B C 10世紀）、北半分の首都
- ・アッシリヤによる滅亡（B C 8世紀）後、混血民族に
- ・ユダヤ人帰還時（B C 6世紀）、ユダヤ人を妨害
- ・サマリヤ・ユダヤ間の敵対感情
- ・主イエスの伝道：スカルに滞在、多くの入信（ヨハネ4：39－41）



3. ピリポ、サマリヤへ

- ・ サマリヤに「下った」勇気
- ・ どの町？：①旧サマリヤ（サバステ）、②シェケム、③スカル？（多分③）
- ・ メッセージ：彼らのメシヤ待望（ヨハネ 4：25）を土台に福音伝達
- ・ 奇跡の業：メッセージの補強
- ・ 多くの人々の救いと喜び
（16：34、ルカ15：10）

B. 魔術師シモンのエピソード（9 – 25節）

1. 表面的な動機で入信（9 – 13節）
2. ペテロとヨハネの来訪と、より深い奉仕（14 – 17節）
3. シモンの悪しき動機が叱られる（18 – 25節）

終わりに

救いの喜びが、家庭・社会・国全体を
満たすように！